

# 患者の皆様へ

2019年6月6日

放射線科

現在、放射線科では、畳み込みニューラルネットワークを利用した脳動脈瘤検出についての後ろ向き研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究ではMR angiography (MRA) を含む頭部MRIを受けられた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「畳み込みニューラルネットワークを利用したMR angiography に対する脳動脈瘤検知システムの開発」

## 2. 研究の意義・目的

MRA という脳血管を描出するMRI画像に対して、動脈瘤を自動検知するシステムを開発することです。このシステムにより、時に致命的になりうる脳動脈瘤の見逃しを防ぐことが期待されます。

## 3. 研究の方法

当院で脳のMRAを撮影した患者様の画像データを、畳み込みニューラルネットワークという機械学習モデルに入力します。これにより、自動的に動脈瘤を検出するモデルが構築できます。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化した上で、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名・生年月日・患者番号などの個人を特定しうるデータは一切公表せず、外部にも提供しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院放射線科の外部ネットワークから隔離されているサーバーで保管します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

## 6. 研究組織

・千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学：TEL 043-226-2100

教授 宇野隆

助教 横田元

**7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について**

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院放射線科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院放射線科

助教 横田 元

代表 043(222)7171 内線(MR検査室)6314/6313